2026年度 第3四半期決算説明資料

2026年11月11日

サッポロビール株式会社(2501)

URL: https://www.sapporobreweries.com/

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

目次

サマリー - P3

1. 決算ハイライト・トピックス - P4
- 連結 - P5
- 事業セグメント別 - P6
- 売上収益増減 - P7
- 事業利益増減 - P8
- 自己株式取得および消却の概要について - P9

2. 事業戦略 - P10
- サマリー - P11
- 国内事業(国内酒類) - P12
- 国内事業(国内食品飲料) - P13
- 海外事業(海外酒類・海外飲料) - P14-15
- アクションプランKPI - P16
- (参考)アクションプラン - P17

Appendix - P18-30

*本資料中で使用する略称・用語について
PS社: ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社　SPB: SAPPORO PREMIUM BEER
Q3: 第3四半期(1-9月)　ビール類: プレミアム・メインストリーム・エコノミーの合計(定義についてはP25を参照)

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

サマリー

2026年度第3四半期決算および通期業績予想

(億円)	連結(実績) 2025Q3 実績	2026Q3 実績	増減	前年比
売上収益	3,680	**3,673**	▲7	▲0.2%
事業利益	158	**159**	+1	+0.7%
営業利益	155	**26**	▲129	▲83.2%
親会社の所有者に帰属する当期利益	109	**3,018**	+2,909	-

*比較年度である2025年度実績も不動産事業の非継続事業分類後で表示しております

＜第3四半期決算＞

- 天候不順・コストインフレ・全社セグメントの一時的なコストの増加影響の一方、国内酒類・海外酒類を中心に好調に推移し、売上・事業利益ともに前年並みで進捗
- 営業利益は自販機事業の譲渡(Q1計上済み)、米国事業の追加的構造改革(Stoneブランド譲渡・生産体制の見直し。Q2計上済み)に伴う損失計上等により減益。一方、親会社当期利益は不動産外部資本導入に伴う利益計上により大幅増益

＜通期業績予想＞

- カナダが苦戦も、APAC・欧州が好調に進捗し、全体では計画通り進捗。通期業績予想は据え置き

トピックス

成長戦略の着実な推進

- 国内は10月の酒税改正を見据えた積極的なマーケティング投資を実施。ビールが成長を牽引(プレミアム+メインストリーム: 前年比+3%)
- 海外ではサッポロブランドが高成長を継続(前年比+21%)し、グローバル展開を着実に推進 *前年比はQ3実績(1-9月累計)・数量ベース

構造改革・成長基盤の構築

- カナダ事業において、軟調な市場環境とコストインフレ等により収益性が悪化。構造改革を実行中

株主価値向上に向けた取り組み

- 「中期経営計画2027-2030」(2026年8月発表)におけるキャッシュアロケーション方針に基づき、適正資本水準の実現による資本効率の向上を目的とし、自己株式取得（上限100億円）と消却の実施を決定

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

1. 決算ハイライト・トピックス

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q3決算ハイライト(連結)

» 天候不順・コストインフレの中でも、国内酒類・海外酒類を中心に好調に推移し、売上・事業利益ともに前年並みで進捗
» 営業利益は構造改革影響等により減益となった一方、親会社当期利益は不動産外部資本導入に伴う利益計上により大幅増益

(億円)	2025Q3 実績	2026Q3 実績	増減	前年比
売上収益	**3,680**	**3,673**	▲7	▲0.2%
EBITDA	**284**	**286**	+2	+0.7%
事業利益(売上収益-売上原価-販管費)	**158**	**159**	+1	+0.7%
(事業利益率)	4.3%	4.3%	-	-
その他の営業収益・費用	**▲3**	**▲133**	▲130	-
営業利益	**155**	**26**	▲129	▲83.2%
金融収益・費用/持分法投資損益	**▲25**	**16**	+41	-
税引前利益	**131**	**42**	▲89	▲67.8%
継続事業からの当期利益	**85**	**19**	▲66	▲77.8%
非継続事業からの当期利益	**24**	**2,999**	+2,975	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	**109**	**3,018**	+2,909	-

*比較年度である2025年度実績も不動産事業の非継続事業分類後で表示しております

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q3決算ハイライト(事業セグメント別)

» 売上は構造改革影響により国内食品飲料が減収も、国内酒類・海外酒類を中心に増収となり、全体で前年並み
» 事業利益は国内・APAC・欧州でのビール成長、国内食品飲料・海外酒類のコスト構造改革効果の一方、一時的な全社費用の増加に伴い前年並み

(億円)	売上収益				事業利益			
	2025Q3 実績	2026Q3 実績	増減	前年比	2025Q3 実績	2026Q3 実績	増減	前年比
国内事業	2,771	**2,726**	▲44	▲1.6%	197	**204**	+7	+3.5%
国内酒類	2,166	2,198	+32	+1.5%	175	182	+7	+3.8%
国内食品飲料	604	528	▲76	▲12.6%	22	22	+0	+0.7%
海外事業	909	**947**	+37	+4.1%	16	**26**	+9	+57.1%
海外酒類	719	750	+31	+4.3%	6	20	+14	+230.2%
海外飲料	190	196	+7	+3.5%	10	6	▲4	▲42.2%
その他/その他・全社	-	**-**	-	-	▲56	**▲71**	▲15	-
連結	3,680	**3,673**	▲7	▲0.2%	158	**159**	+1	+0.7%

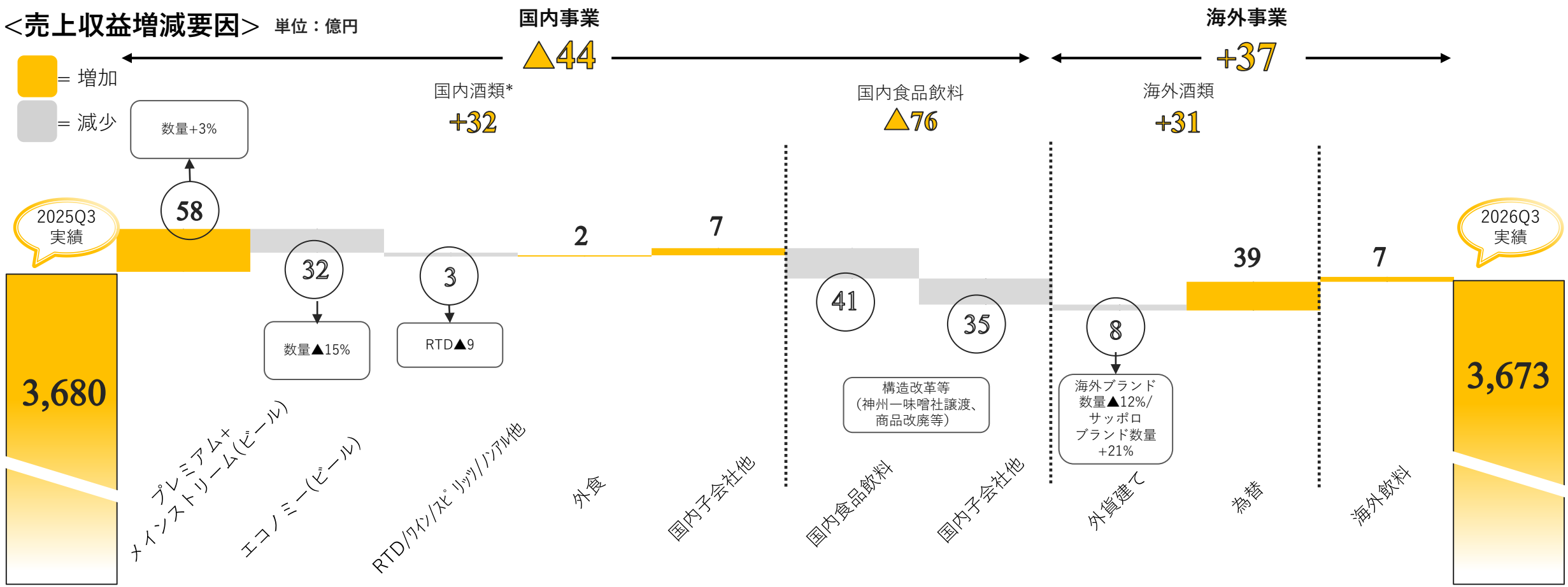
*比較年度である2025年度実績も不動産事業の非継続事業分類後、セグメント変更後で表示しております

*Q3より「国内事業」は、「国内酒類」及び「国内食品飲料」で構成し、「外食」は「国内酒類」に含めます

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q3決算ハイライト(売上収益増減)

» **構造改革影響等により国内食品飲料が減収も、国内のビール成長・為替影響により全体で前年並み(▲7億円)**
- 国内酒類: 黒ラベルを中心に強化を進めるプレミアム+メインストリーム(ビール)が好調に推移し、増収
- 国内食品飲料: 夏場の天候不順、構造改革影響等により減収
- 海外酒類: 海外ブランドは減収も、サッポロブランドの成長・為替影響により増収



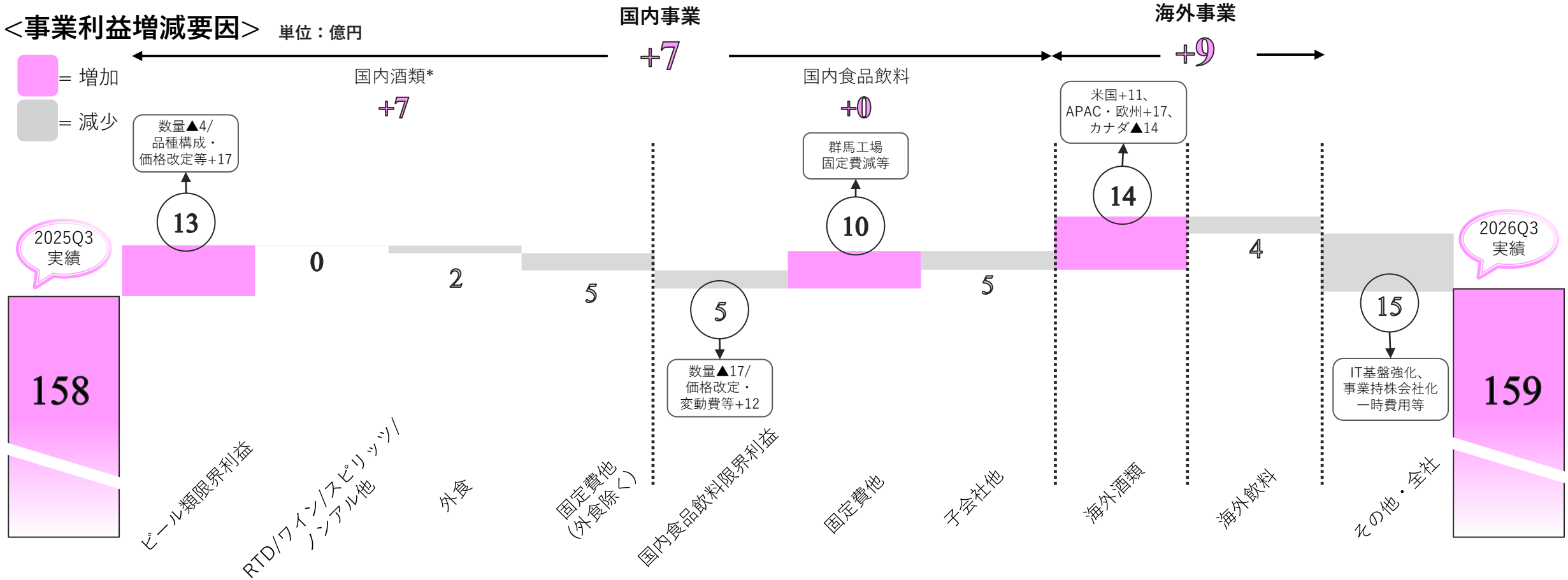
*Q3より「国内事業」は、「国内酒類」及び「国内食品飲料」で構成し、「外食」は「国内酒類」に含めます

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q3決算ハイライト(事業利益増減)

» **国内・APAC・欧州でのビール成長、国内食品飲料・海外酒類のコスト構造改革効果の一方、一時的な全社費用の増加に伴い前年並み(+1億円)**

- 国内酒類: 黒ラベルを中心としたプレミアム+メインストリーム(ビール)の好調、価格改定効果等により増益
- 国内食品飲料: 構造改革効果の一方、夏場の天候不順に伴う売上減少により前年並み
- 海外酒類: カナダで苦戦も、米国およびAPAC・欧州双方でのサッポロブランドの成長や米国のコスト構造改革効果等により増益



*Q3より「国内事業」は、「国内酒類」及び「国内食品飲料」で構成し、「外食」は「国内酒類」に含めます

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

自己株式取得および消却の概要について

» 2030年までに総額1,700億円の自己株式取得を実施予定であり、今回上限100億円の取得と消却の実施を決定

中期経営計画2027-2030のキャッシュアロケーション方針

キャッシュアウト

通常・基盤投資
1,000億円程度

株主還元
（2030年度までの総還元額）
2,500億円程度
配当：800億円
自己株式取得：1,700億円

成長投資
（M&A等を含む）
3,000～4,000億円程度

2030年の適正資本水準3,500億円の実現による資本効率向上を目指す

＜配当＞
・累進配当方針
・2030年までにDOE5%以上を目指す

＜自己株式取得＞
・今回、自己株式取得100億円実施
・今後も機動的に実施予定

自己株式取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得し得る株式の総数	7,000,000株（上限） （発行済株式総数（自己株式取得を除く）に対する割合1.8%）
株式の取得価額の総額	10,000,000,000円（上限）
取得期間	2026年11月12日～2027年2月10日
取得の方法	東京証券取引所における市場買付

自己株式消却に係る事項の内容

消却対象株式の種類	当社普通株式
消却する株式の数	今回の決定により取得した自己株式の全株式数
消却予定日	2027年3月10日

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2. 事業戦略

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: サマリー

» **Bonds with Communityを通じ、ビールを中核とした既存事業のプレミアム化を推進。**
併せて、強みであるレモンを軸としたHealthier Choiceの拡大を通じて、中長期的な収益力の強化を図る

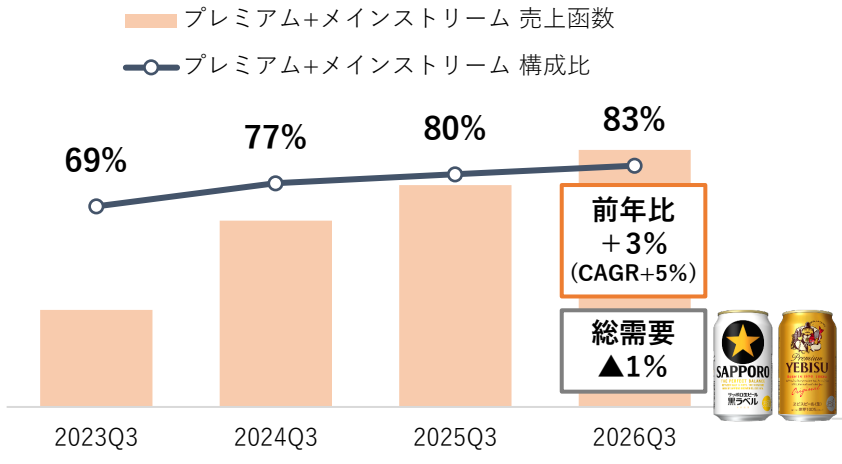
Bonds with Community

国内酒類

プレミアムなブランド体験を起点とした顧客接点の拡大により、プレミアム+メインストリーム(ビール)の持続的成長を実現

- 黒ラベルを中心に好調なトレンドを継続し、前年越え。総需要に対しても、4pt上回り進捗
- KPIのプレミアム+メインストリーム構成比も4年間で10pt以上上昇

引き続き黒ラベル・エビスを中心とした主軸ブランドに経営資源を集中。当社独自のコミュニケーションによりファン化を図り、成長を加速

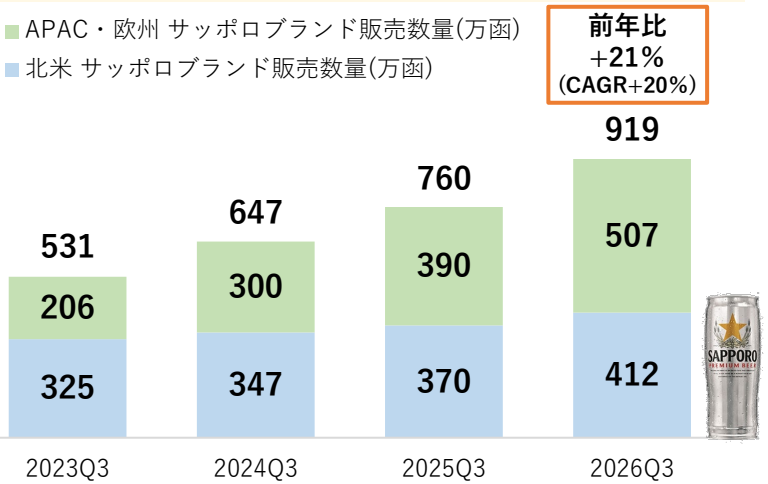


海外酒類

日本との結びつきを持つプレミアムブランドとしての価値を基盤にグローバルでサッポロブランドの成長を加速

- 米国・カナダともに総需要が縮小する中、サッポロブランドは前年比+11%と好調なトレンドを継続
- APAC・欧州も前年比+30%と成長を牽引

重点エリア(北米・アジア)を中心に、プレミアムブランドとしての競争優位を強化し、量的拡大の実現を目指す



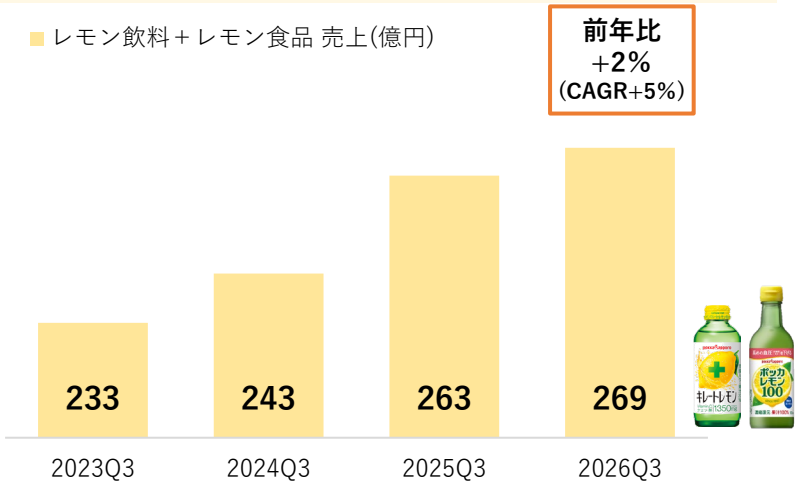
Healthier Choice

国内食品

レモンに経営資源を集中し、安定的な成長と収益力強化を実現

- レモン売上は前年比+2%と伸長するも、天候不順によるレモン飲料の販売数減少により、年間KPI(+9%)に対してビハインドで進捗

レモン食品・機能系飲料等の好調なカテゴリーの強化に加え、レモンの価値・専門性を活かした商品開発・マーケティングを推進し、さらなる成長を目指す



＊2023年を起点としたCAGR
(国内ビール類の売上数量実績は、Q2及びQ4のみ開示しております)
※総需要は当社推計値

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

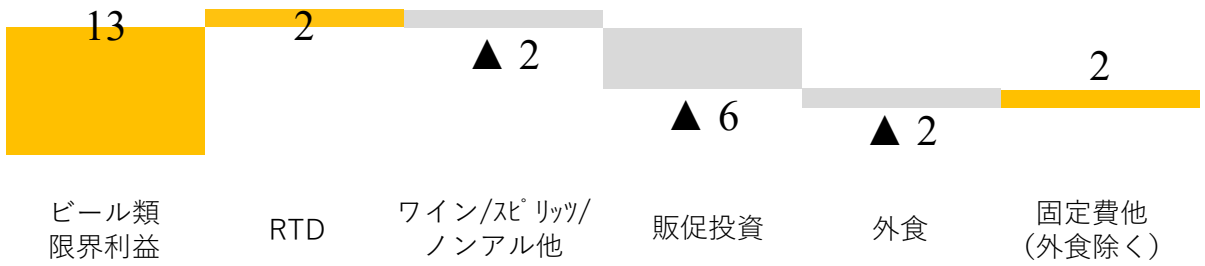
事業戦略: 国内事業(国内酒類)

≫ 黒ラベルを中心としたプレミアム+メインストリーム(ビール)の好調および価格改定効果により、増収・増益

財務情報

(億円)	2026Q3	増減	前年比
売上収益	2,198	+32	+1.5%
事業利益	182	+7	+3.8%
事業利益率	8.3%	-	-

利益増減要因(前年比)



ビール強化(1-1)

*市場:プレミアム+メインストリーム構成比58% (2025年末時点、当社推計値)



◆ プレミアム+メインストリーム構成比: 83%(前年比+3pt)

- 総需要は、9月にエコノミーで酒税改正前の駆け込み需要が一部発生したものの、天候不順等の影響を受け、Q3期間でビール類▲3%と前年割れ
- 当社は、ビール類、プレミアム+メインストリームともに総需要を上回るトレンドで推移。注力する黒ラベル単体缶とサッポロラガー瓶が成長を牽引
- 10月以降は酒税改正を追い風とし、黒ラベル・ヱビスを中心にプレミアム+メインストリームの成長を加速

＜売上数量＞ *総需要(数量ベース)は当社推計値

	ビール類			プレミアム+メインストリーム			プレミアム+メインストリーム(缶)		
	総需要		当社	総需要		当社	総需要		当社
7-9月	▲3%	＜	▲1%	▲4%	＜	+1%	▲4%	＜	+1%
1-9月	▲3%	＜	±0%	▲1%	＜	+3%	▲1%	＜	+5%

プレミアム+メインストリームへの投資について

- Q3期間は、酒税改正に向けた認知拡大のため、前年を上回る販促投資を実施。過去最大規模のCM出稿を行い、主軸ブランドの販促を強化
- 2027年も、酒税改正後のシェア拡大に向けた先行投資期間と位置付け、黒ラベル・ヱビスへの集中投資を継続。本年を上回る投資規模を予定

RTD強化(1-2)



◆ RTD売上金額: 前年比▲3%

- 主軸の濃いめブランドの前年割れにより、市場をアンダーパフォームしたものの、9月単月では濃いめブランド前年比+31%(数量ベース)と復調傾向。10月中旬よりリニューアル販促を展開し、継続的な成長トレンドへの回帰を目指す
- 11月にデュワーズ12年ハイボール(缶)を限定発売。当社アセットを活用した高付加価値商品の投入により、RTDについてもプレミアム化を推進していく

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: 国内事業(国内食品飲料)

≫ 事業譲渡等の構造改革影響・数量減影響を価格改定とコスト構造改革効果で補い、前年並みの利益を確保

財務情報

(億円)	2026Q3	増減	前年比
売上収益	528	▲76	▲12.6%
事業利益	22	+0	+0.7%
事業利益率	4.2%	-	-

利益増減要因(前年比)



抜本的な構造改革(5-1)

◆ コスト構造改革: 前年比+7億円

- PS社群馬工場譲渡や仙台工場スープ製造稼働停止等、生産拠点再編等の取り組みにより、Q3累計で前年比+7億円の利益改善
- 飲料自販機事業は、10月1日付でライフドリンクカンパニー社への事業承継が完了
- 前中計期間で検討を進めていた構造改革については概ね対応が完了。今後は、当社が強みを持つレモンへの経営資源集中に加え、食品・価値創造飲料カテゴリの新たな需要拡大、収益力強化に向けた取り組みを進める

レモン強化(5-2)



◆ レモン売上金額: 前年比+2%

- レモン全体で成長トレンドを継続しているものの、Q3期間の天候不順の影響を受け、レモン飲料が数量減。年間KPIに対してはビハインドの進捗
- Q4以降は、好調なカテゴリーの売上拡大および、価格改定の寄与も見込み、売上成長加速を目指す
  - レモン飲料:ペットボトル飲料を中心に数量減も、健康・美容軸の「キレートレモン クエン酸2700」や「キレートレモン MUKUMI」は前年を上回るトレンド。25周年を契機としたブランド価値の浸透と、小売業における配荷率拡大を進め、2027年以降の再成長につなげる
  - レモン食品:「ポッカレモン100」が牽引する形で、市場・当社ともに売上成長。原価高騰影響を受け、本年9月に一部商品の価格改定を実施。10月以降は価格改定後の販売定着を図り、売上成長につなげる

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

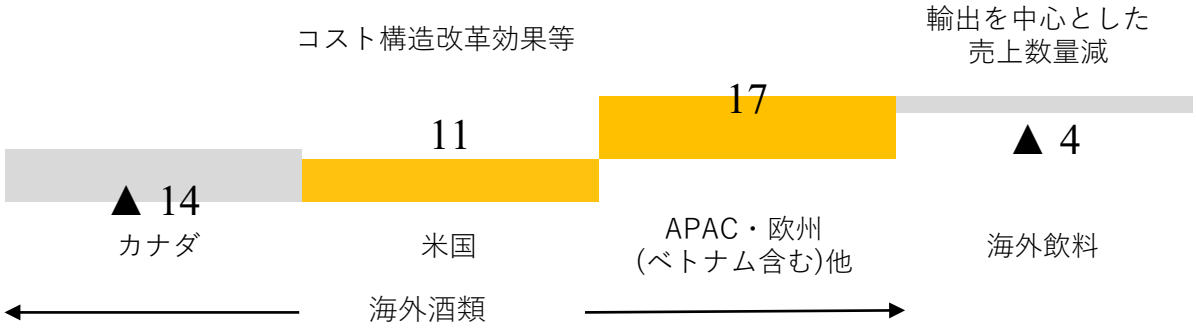
事業戦略: 海外事業(海外酒類・海外飲料)

≫ カナダ・海外飲料の苦戦を、米国のコスト構造改革及びサッポロブランドの成長で補い、増収・増益

財務情報

(億円)	2026Q3	増減	前年比
売上収益	947	+37	+4.1%
事業利益	26	+9	+57.1%
事業利益率	2.7%	-	-

利益増減要因(前年比)



海外酒類: エリア別概況

*総需要(数量ベース)は当社推計

カナダ

- ビール総需要は▲6%程度と、引き続き厳しい市場環境が継続
- 当社は、SPBが成長を継続するものの、構成比の大きい海外ブランドが前年割れ。関税影響・原価高騰影響も重なり、全体で減益
- 2027年以降の収益性改善に向け、構造改革を実行中※1

米国

- ビール総需要はQ3累計で▲4%と縮小が続く。インフレ影響等を背景とした消費マインドの低下及び、若年層のアルコール消費量減少が主因
- SPBは2桁成長のトレンドを継続。米系スーパーマーケットチェーンやCVS業態での取り扱いが増加しており、好調なモメンタムを継続
- Stoneブランド譲渡後の生産拠点の集約を進め、今後はSPBに経営資源を集中

APAC・欧州

- 各エリアで好調なトレンドを継続
- 当社の売上構成比の大きい東アジアが+41%と成長を牽引。中国は売上数量前年比約2.5倍、韓国も2桁成長。両国ともに家庭用(缶)が好調

海外酒類: サッポロブランド成長

*前年比は売上数量ベース



◆ サッポロブランド数量: 919万函(前年比+21%)

- 北米: 総需要が縮小する中、前年比+11%と好調なトレンドを継続
- APAC・欧州: 前年比+30%と各エリア好調で、サッポロブランドの成長を牽引
  - 東アジア＋41%、東南アジア・香港+22%、欧州+11%

カールスバーグ社との取組状況

- 東南アジア+香港: 2026年12月末のクロージングに向け、計画通りにプロセスを進行中
- 英国: 8月にカールスバーグ社とSPBのブランドライセンス契約を締結。製造・販売・マーケティング機能を同社に集約※2し、ブランド戦略を一体的に推進する体制を構築。英国市場におけるSPBのさらなる成長加速を目指す

※1 カナダ(Sleeman社)の状況については、P15に詳細を記載
※2 一部商品は当社工場より輸出販売

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

カナダ事業を取り巻く環境変化と今後の対応方針

» インフレの長期化・消費者嗜好の変化等によりビール総需要が縮小する中、競争環境の激化により海外ブランドの販売数量は市場トレンド以上に減少。加えて、米加間関税等によるコスト増や米国向けアルコール輸出禁止に伴う一部製品の出荷減が収益性を圧迫
» コスト構造改革に加え、成長領域(サッポロブランド)へのリソースシフトを含むブランドポートフォリオ最適化を推進し、収益性改善に取り組む

事業環境の変化

2024年 2025年 2026年

▼販売規制の緩和 ▼米国関税の発動 ▼米国向けアルコール輸出規制

①ビール総需要の継続的な縮小

＋ ②販売規制の緩和等による競争環境の激化

＋ ③米国関税等によるコストアップ（アルミ、燃料等）

＜カナダ事業 収益性悪化の主な要因＞

① 市場環境
インフレの長期化・消費者嗜好の変化等により、特にメインストリームカテゴリーを中心にビール総需要は縮小を継続

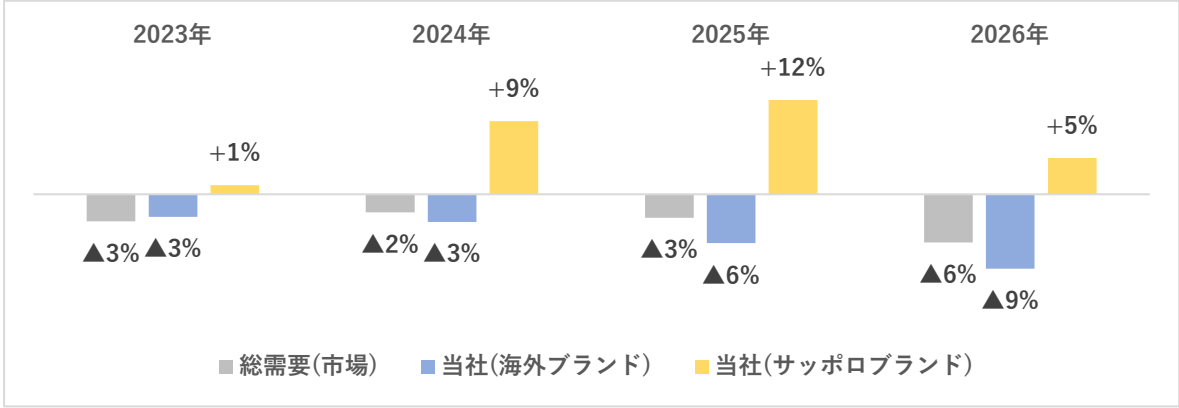
② 競争環境
一部州における規制緩和や競合各社の価格攻勢・販促強化等を背景に、競争環境が激化し、構成比の高い海外ブランドの販売数量が市場以上に減少

③ コスト環境
インフレに伴う継続的な原材料・物流費の上昇に加え、米国関税等による追加的なコストアップが収益性を圧迫

市場・当社の販売数量(前年比)

*総需要(数量ベース)は当社推計
*2023-2025年は年間、2026年はQ3累計ベース

- ビール総需要が縮小を継続する中、売上構成の約9割を占める海外ブランドは市場トレンド以上に減少
- 一方、サッポロブランドは成長を継続し、Importビールカテゴリ内で上位ポジションを獲得



今後の対応方針

- 2027年以降の収益性改善に向け、構造改革を実行中
  - 購買・生産・物流ネットワークを含むサプライチェーン全体の構造改革による固定費・変動費の最適化
  - 市場環境の変化を踏まえた事業・組織体制の最適化、成長領域(サッポロブランド)へのリソースシフトを含むブランドポートフォリオの最適化

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: アクションプランKPI

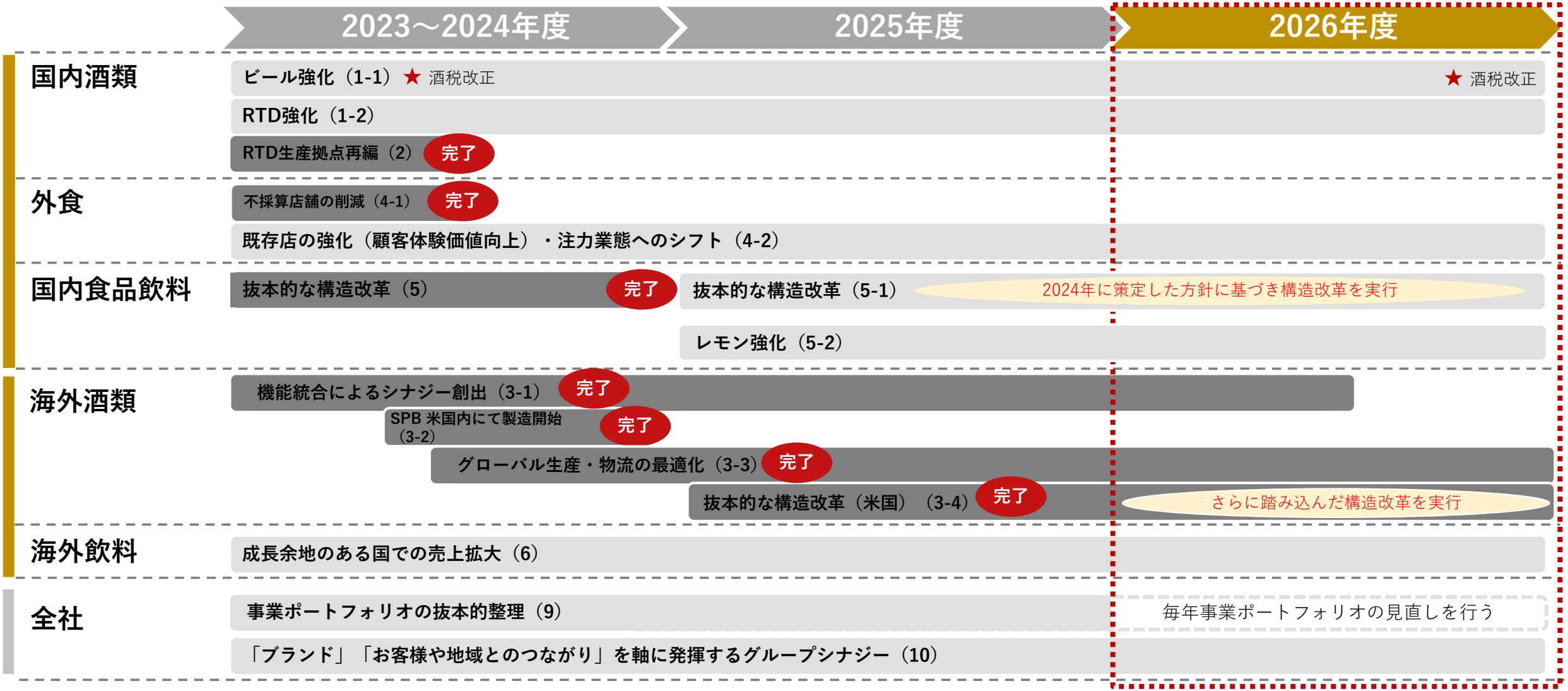
		2025Q3	2026Q3	2026年度計画
国内酒類	**ビール強化・ビール類利益率改善** ビール強化：プレミアム+メインストリーム構成比(1-1)	80%	83%	86%
	RTD事業の成長・生産効率化　他 RTDの成長：RTD(缶)売上金額（1-2)	前年比+19%	前年比▲3%	前年比+9%
国内食品飲料	**コスト構造改革**(2025年~)（5-1)	前年比2億円	前年比+7億円	前年比+6億円
	レモン強化　レモン売上金額(2025年~)（5-2)	前年比+8%	前年比+2%	前年比+9%
海外酒類	**サッポロブランド成長** サッポロブランド数量	760万函	919万函	1,175万函
	Stone社買収シナジー/コスト構造改革 コストシナジー　(3-1~3) 完了	-	前年比+$2M	前年比+$2M
	コスト構造改革(2025年~)（3-4) 完了	-	前年比+$10M 計画前倒しでの取り組み推進および追加的構造改革の実行に伴いQ2で完了	前年比+$10M
海外飲料	**売上拡大**　海外売上金額　(6) *現地通貨ベース(シンガポール通貨)	前年比▲9%	前年比▲10% 輸出を中心とした売上数量減により計画に対してビハインド	前年比+5%
全社	**事業ポートフォリオの抜本的整理**　(9)	PS社仙台工場設備の子会社移管を意思決定	国内食品飲料 自販機事業事業承継を実行	-

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

(参考)事業戦略: アクションプラン

事業戦略のスライドでは、アクションプラン番号に沿って補足説明しております
(アクションプラン番号は継続性の観点から2023年度以降同じ番号を使用しております)

SAPPORO



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

Appendix

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

財務指標・事業利益の状況

財務指標

	Q3実績		通期	
	2025Q3	**2026Q3**	2025年	**2026年計画**
ROE	-	**-**	9.4%	**83.4%**
事業利益	158億円	**159億円**	250億円	**220億円**
EBITDA	284億円	**286億円**	420億円	**386億円**

事業利益率

	Q3実績		通期	
	2025Q3	**2026Q3**	2025年	**2026年計画**
国内酒類	8.1%	**8.3%**	9.1%	**8.8%**
国内食品飲料	3.7%	**4.2%**	3.8%	**4.1%**
海外酒類	0.8%	**2.6%**	1.1%	**2.1%**
海外飲料	5.5%	**3.1%**	4.6%	**5.3%**

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

財政状態計算書(バランスシート)の状況

(億円)

資産	2025期末	2026Q3	増減
現預金	224	1,785	1,561
営業債権	945	757	▲188
棚卸資産	457	465	8
売却目的で保有する資産	1,686	19	▲1,667
流動資産その他	93	659	566
有形固定資産及び無形資産	1,508	1,473	▲35
投資不動産	826	713	▲113
のれん	225	219	▲6
非流動資産その他	573	2,475	1,902
資産合計	6,537	8,565	2,028

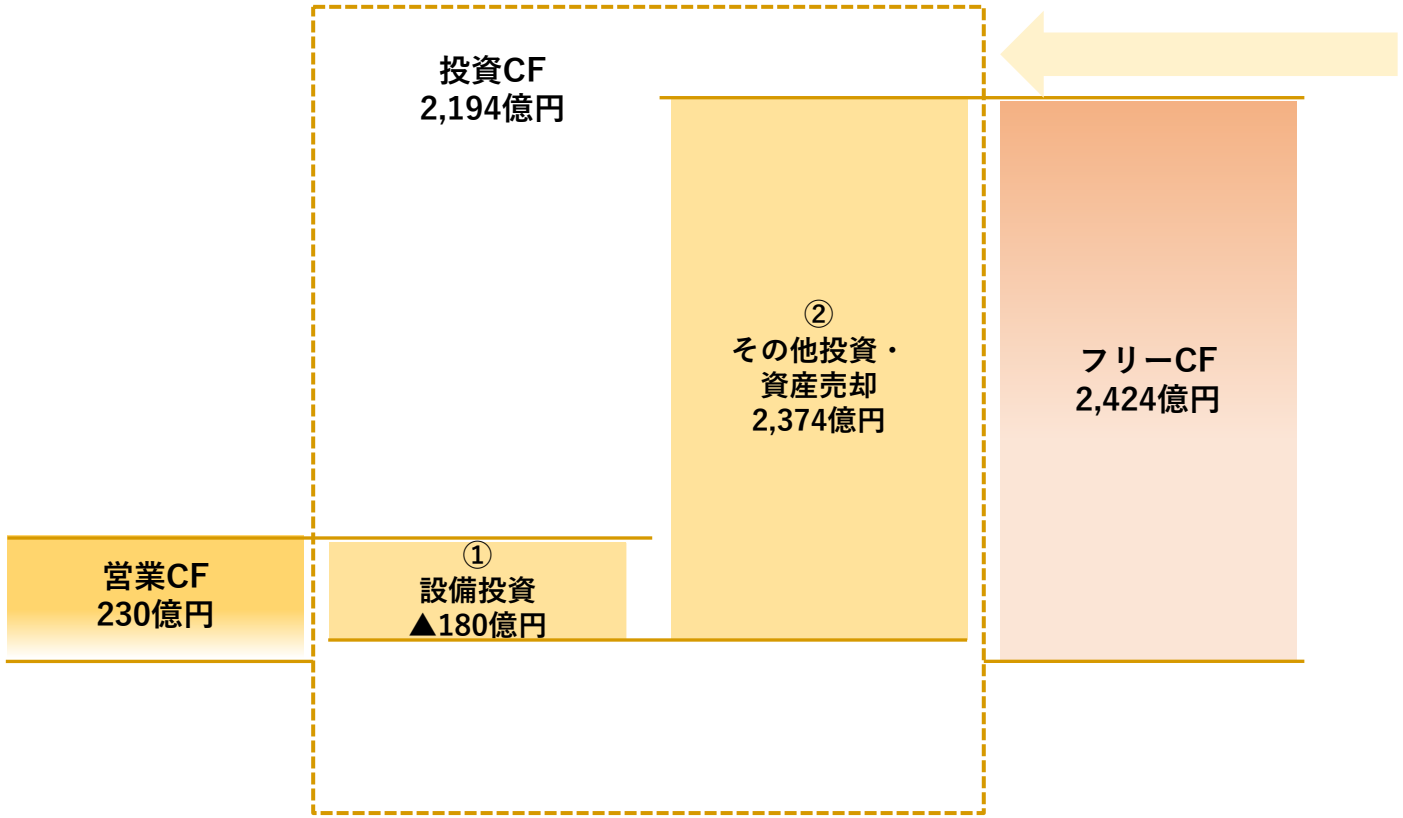
負債・純資産	2025期末	2026Q3	増減
営業債務	364	355	▲10
短期金融負債	514	300	▲214
売却目的で保有する資産に直接関係する負債	291	14	▲277
流動負債その他	1,008	876	▲132
長期金融負債	1,192	698	▲494
退職給付に係る負債	26	22	▲4
非流動負債その他	940	1,187	247
負債合計	4,336	3,451	▲885
親会社所有持分	2,189	5,101	2,913
非支配持分	13	13	0
資本合計	2,201	5,114	2,913
負債・資本合計	6,537	8,565	2,028

ネットD/Eレシオ（倍）	0.7	-	-
ネット金融負債残高	1,482	▲788	▲2,270

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

キャッシュ・フローの状況

（億円）	2025Q3	2026Q3	増減	増減率
営業活動によるCF	308	230	▲79	▲25.5%
投資活動によるCF	▲58	2,194	2,252	―
フリーCF	250	2,424	2,174	868.5%
財務活動によるCF	▲254	▲862	▲608	―



＜投資活動によるCF（①+②）＞ **2,194億円**

① **設備投資**（支払ベース） ： **▲180億円**

（有形固定資産・無形固定資産・投資不動産）

＜主な内訳＞

・国内：▲95**億円**

酒類：▲87億円　食品飲料：▲8億円

・海外：▲32**億円**

酒類：▲29億円　飲料：▲3億円

・全社：▲9**億円**

・不動産(非継続事業)：▲44**億円**

② **その他投資・資産売却** ： **2,374億円**

（株式売却他）

政策保有株式13銘柄売却（売却額：61億円）

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

国内事業データ

国内酒類

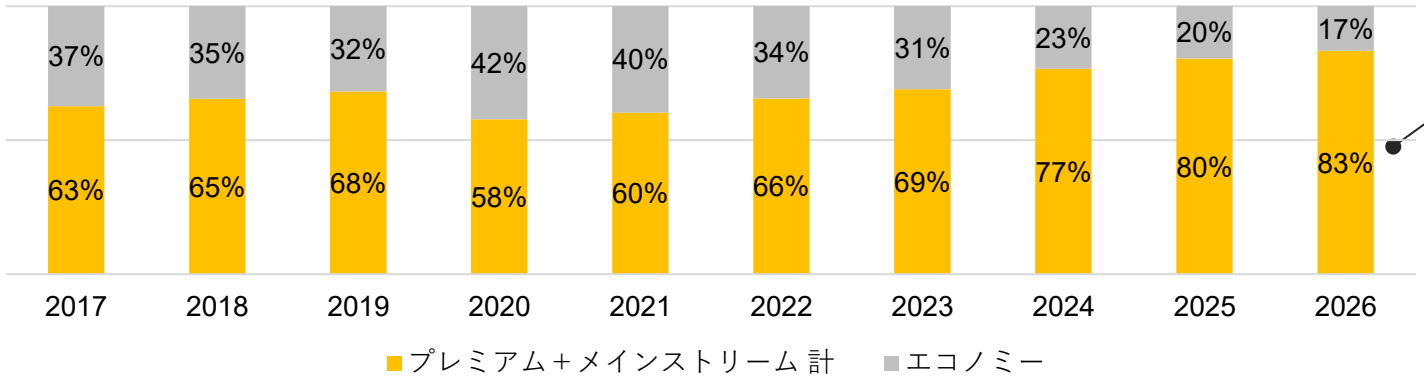
（万函 ※1）

国内酒類　売上数量（※2）	2025Q3	2026Q3	前期比
①プレミアム＋メインストリーム 計	—	—	3.2%
黒ラベル計	—	—	0.9%
ヱビス計	—	—	▲7.2%
②エコノミー	—	—	▲15.0%
ビール類合計（①＋②）	—	—	▲0.3%

※1：大瓶換算
※2：ビール酒造組合での合意により、国内ビール類の売上数量実績は、第２四半期及び第４四半期のみ開示しております。

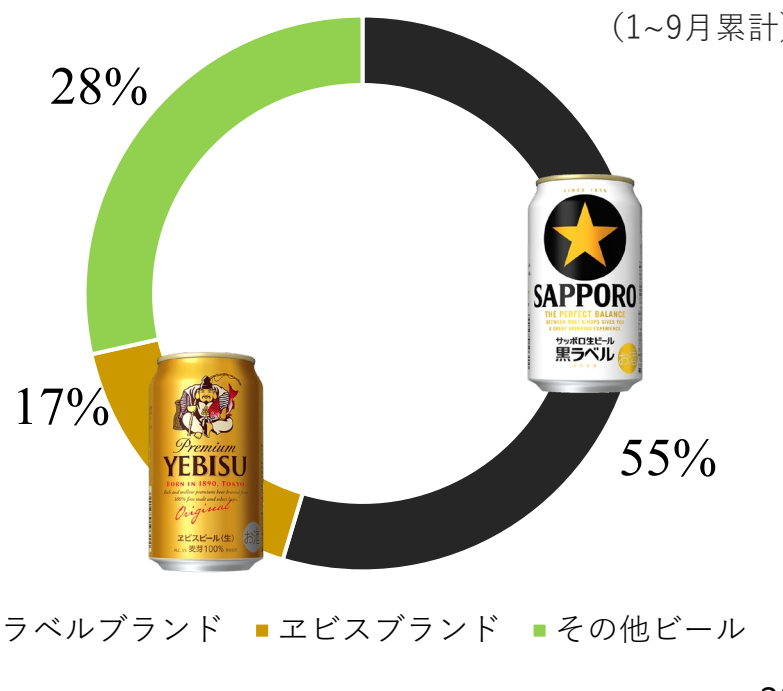
＜ビール類におけるプレミアム+メインストリーム構成比 10年推移＞

（1~9月累計）



＜プレミアム＋メインストリーム内　売上数量構成比＞

（1~9月累計）



Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

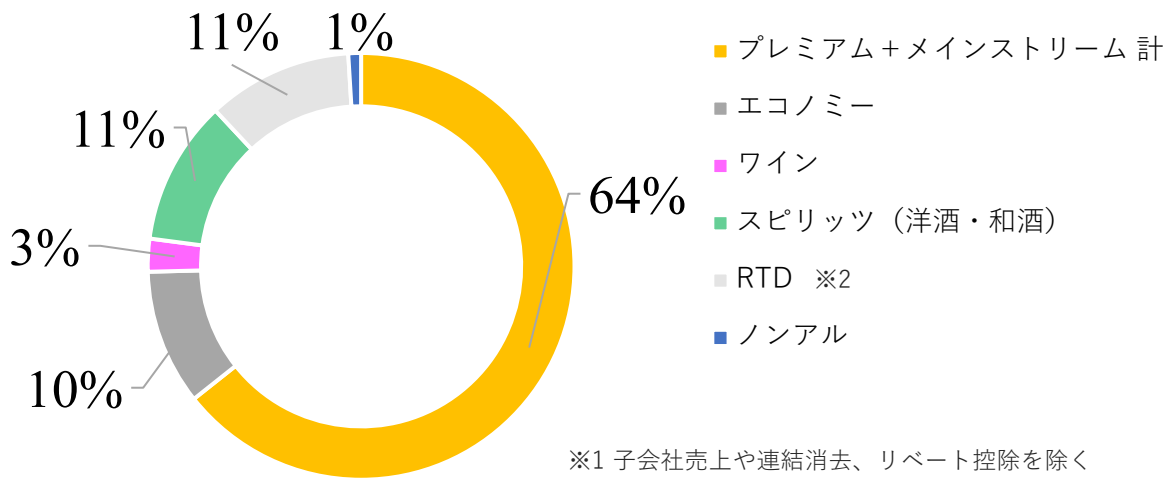
国内事業データ

国内酒類

（億円）

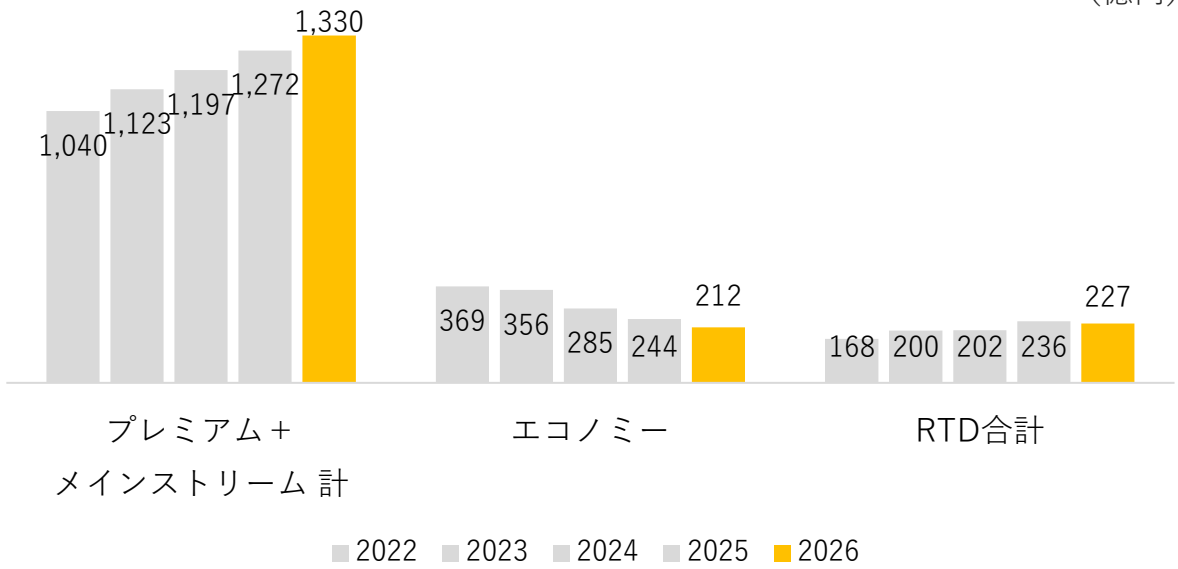
国内酒類　売上金額	2025Q3	2026Q3	前期比
プレミアム＋メインストリーム 計	1,272	**1,330**	4.6%
エコノミー	244	**212**	▲13.0%
ビール類合計	1,516	**1,542**	1.7%
RTD	236	**227**	▲3.6%
国産ワイン	8	**7**	▲3.1%
輸入ワイン	41	**44**	8.0%
ワイン計	49	**51**	6.0%
スピリッツ（洋酒・和酒）	226	**226**	0.1%
合計	2,027	**2,048**	1.0%

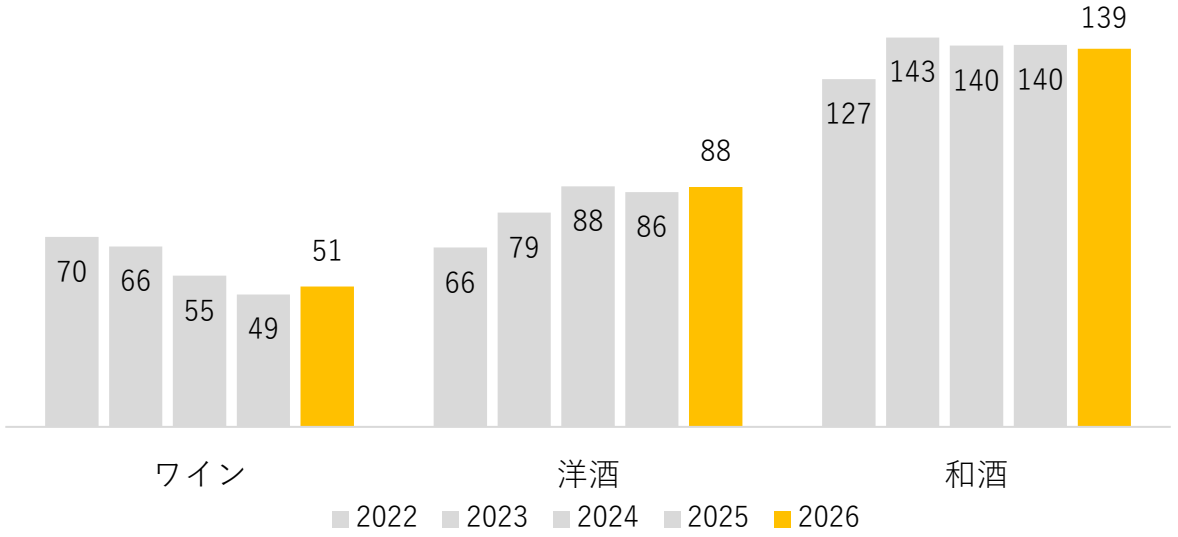
＜売上金額 事業別構成比＞（1~9月累計）※1



＜事業別 売上金額 推移＞（1~9月累計）

（億円）





※1 子会社売上や連結消去、リベート控除を除く

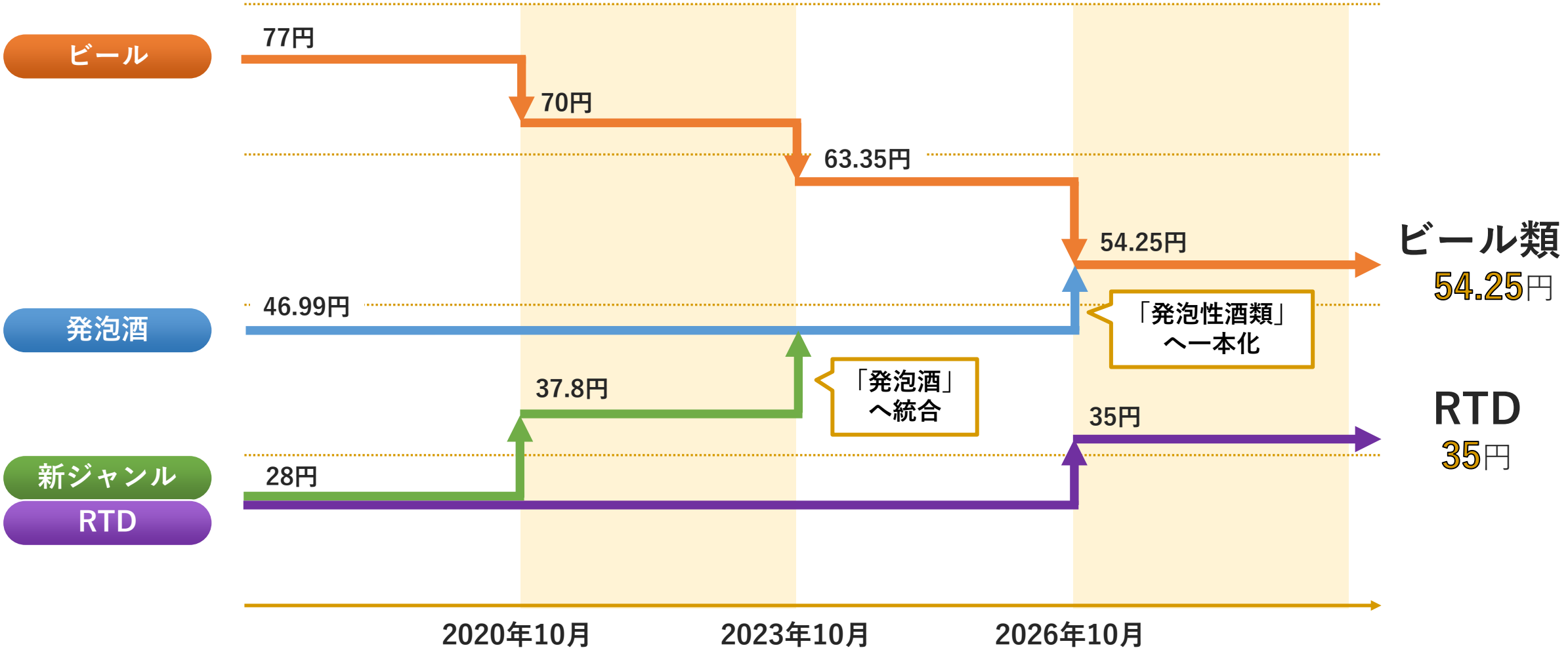
※2 2021年から氷彩サワー+99.99樽は洋酒→RTDへ組替

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

国内事業データ

国内酒類

＜ビール類酒税一本化: 350ml当たりの酒税額の推移＞



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

国内事業データ

国内酒類 <参考: 国内ビールのカテゴリ名称の考え方>

税制区分中心のカテゴリ分類から、価値軸によるカテゴリ分類へ移行する。
税制・品目に依存せず価値軸で各ブランドを定義する。

＊ 同カテゴリにビール、発泡酒など複数の品目がカテゴライズされるようになる

＜これまで＞

税制区分・品目によるカテゴリ

ビール
（プレミアム＋スタンダード）

発泡酒+新ジャンル
（発泡酒②）

＜これから＞

価値軸によるカテゴリ

当社商品カテゴリ区分

プレミアム



・ヱビスビール
・SORACHI1984　etc

メインストリーム



・サッポロ生ビール黒ラベル
・サッポロクラシック　etc

エコノミー



・GOLD STAR
・麦とホップ
・北海道生搾り　etc

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

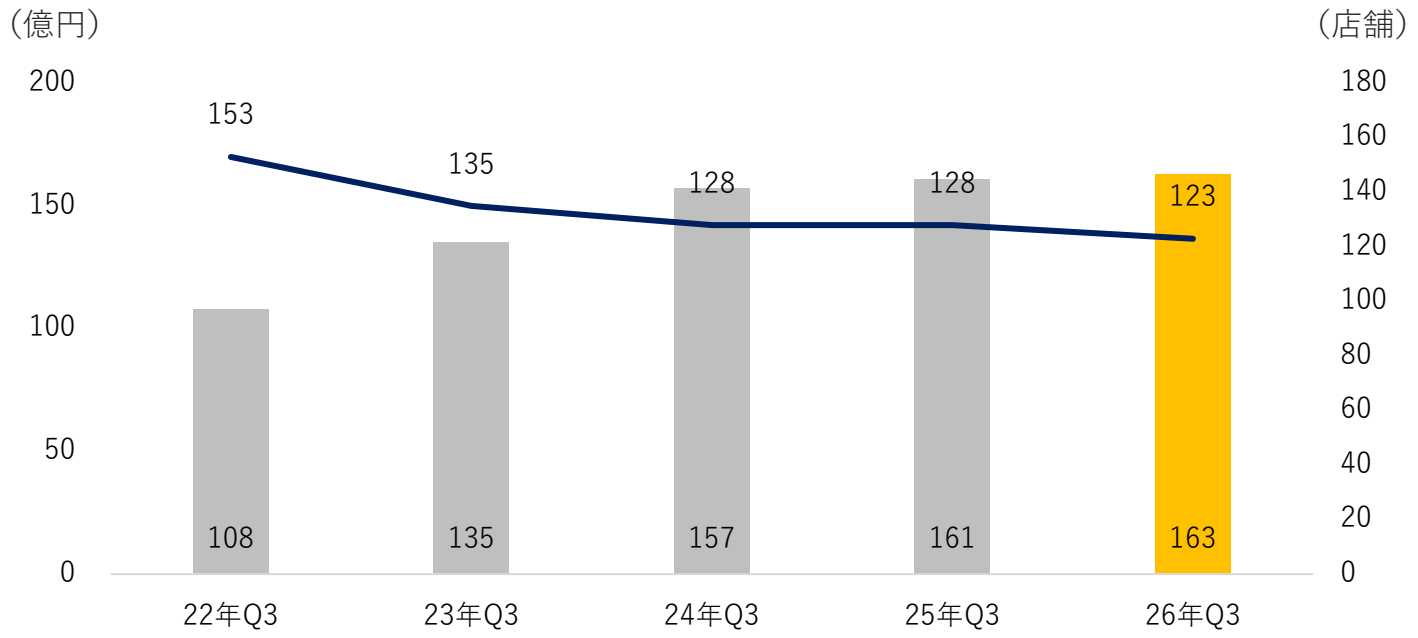
国内事業データ

国内酒類（外食）

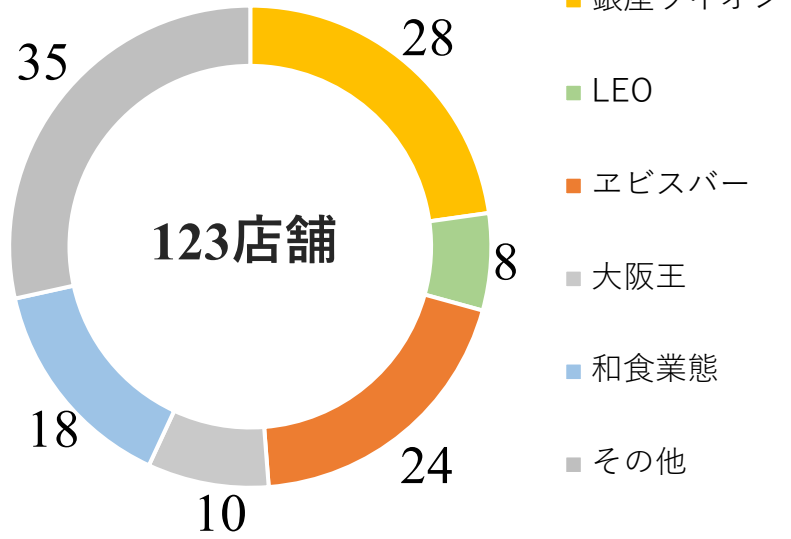
（億円）

国内酒類（外食）	2025Q3	2026Q3	前期比
売上収益	161	**163**	1.3%
店舗数	128	**123**	▲3.9%

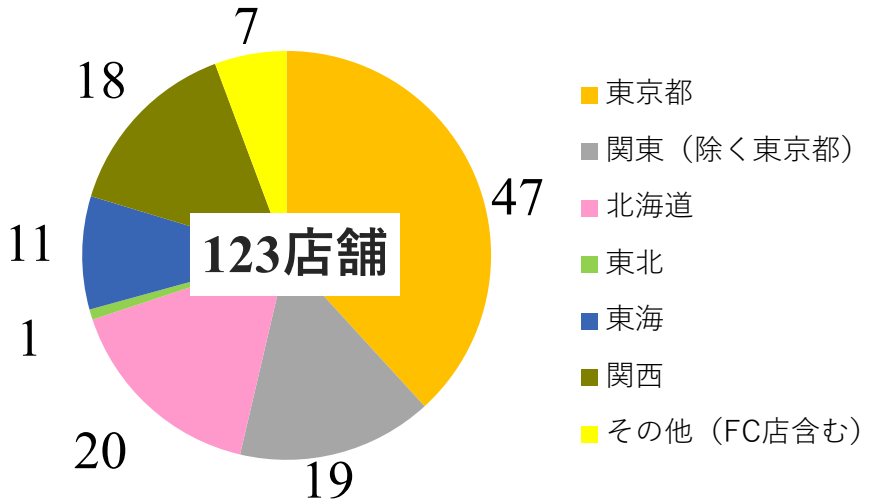
＜国内酒類(外食)の売上収益と店舗数の推移＞ （1~9月累計）



＜店舗数業態構成比＞



＜店舗数地域別構成比＞



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

国内事業データ

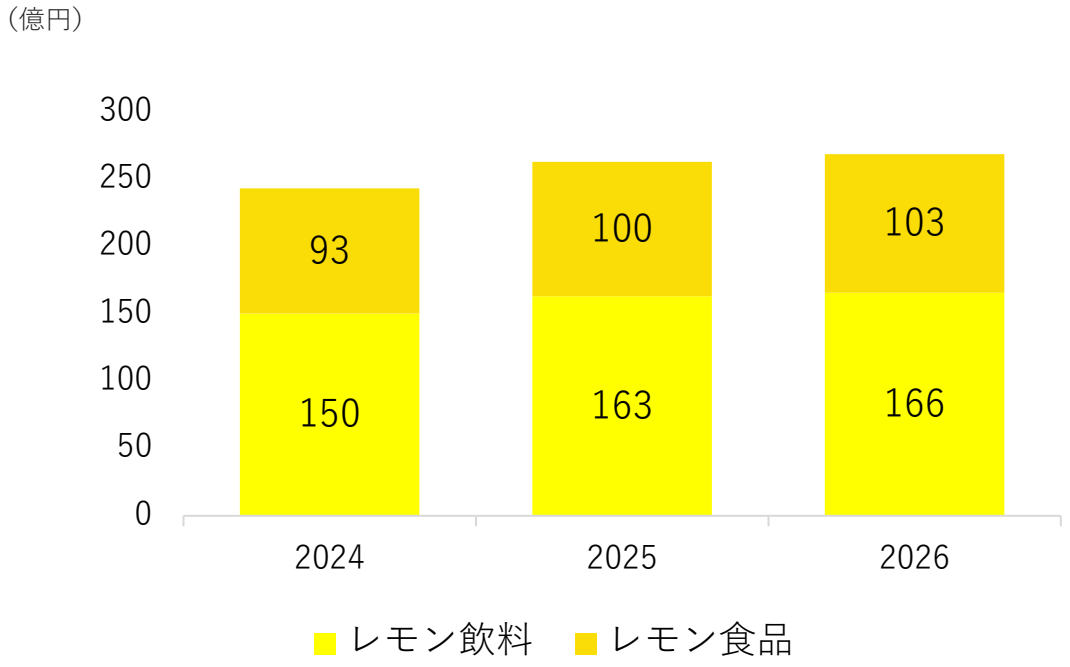
国内食品飲料

（億円）

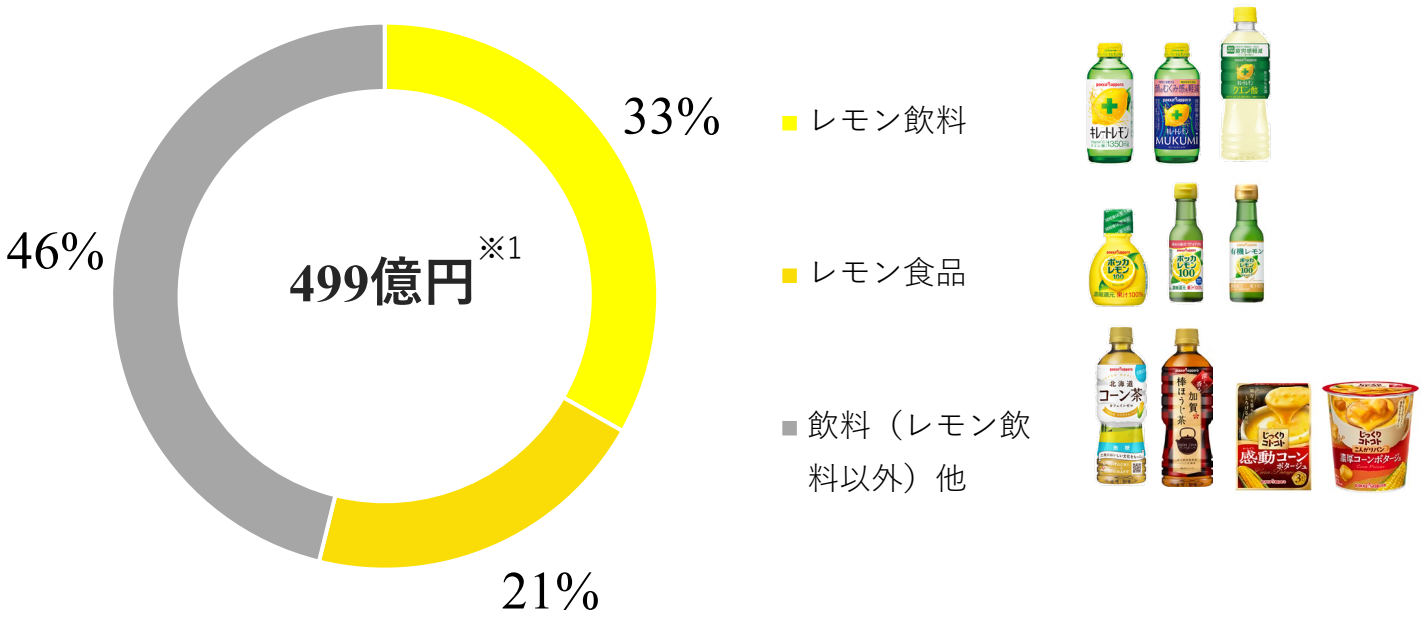
国内食品飲料　売上金額（※1）	2025Q3	2026Q3	前期比
レモン（レモン飲料・レモン食品）	263	269	2.2%
飲料（レモン飲料以外）他	284	230	▲19.0%

※1：ポッカサッポロフード＆ビバレッジ単体 国内売上のみ。（リベート控除前）

＜レモンの売上金額推移＞（1~9月累計）



＜売上金額構成比＞（1~9月累計）



Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

海外事業データ

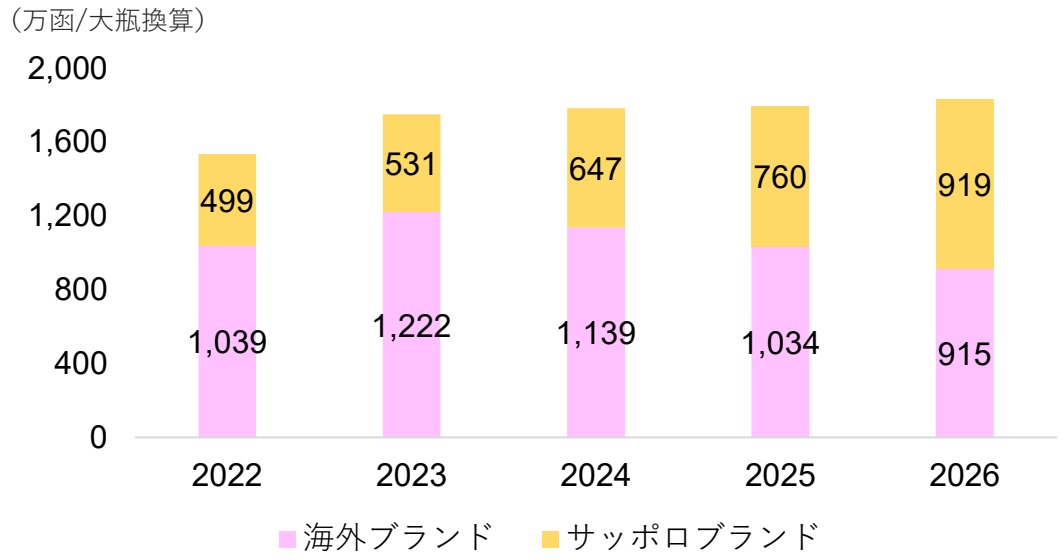
海外酒類

（万函）

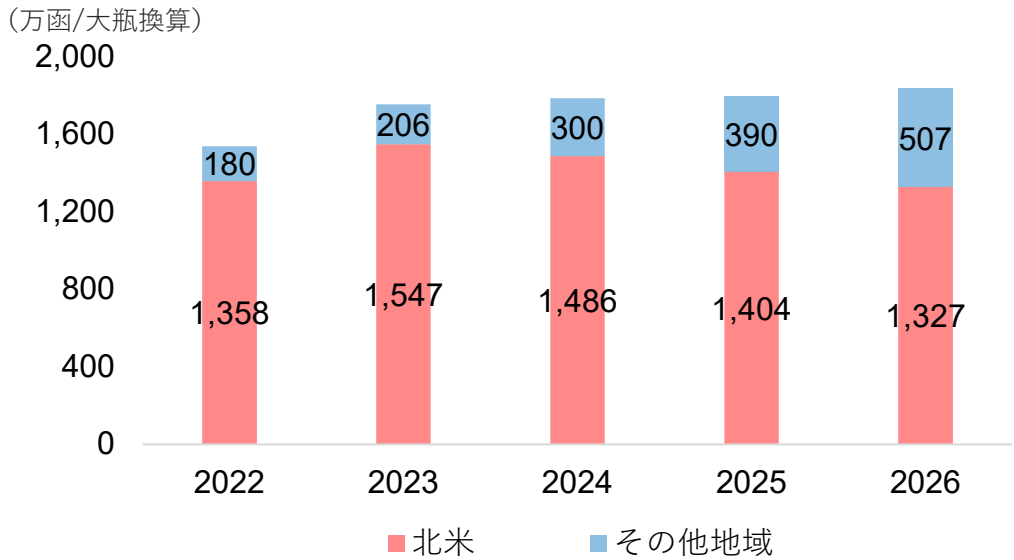
海外ビール類　売上数量	2025Q3	2026Q3	前期比
海外ブランド（※1）	1,034	**915**	▲11.6%
サッポロブランド	370	**412**	11.4%
①北米	1,404	**1,327**	▲5.5%
サッポロブランド	390	**507**	29.8%
②APAC・欧州(ベトナム含む)他	390	**507**	29.8%
サッポロブランド合計	760	**919**	20.9%
合計（①+②）	1,795	**1,834**	2.2%

※1：Sleeman社、Stone社を含む。

＜海外ビール類 ブランド別 売上数量推移＞（1~9月累計）



＜海外ビール類 エリア別 売上数量推移＞（1~9月累計）



Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

参考情報リンク先

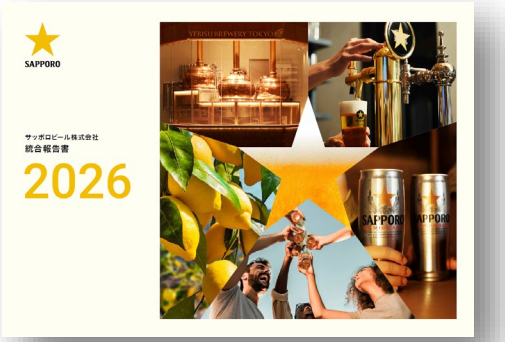
■IR・財務情報
https://www.sapporobreweries.com/ir/

■統合報告書・FACTBOOK*1
https://www.sapporobreweries.com/ir/library/factbook/

■個人投資家のみなさまへ
https://www.sapporobreweries.com/ir/investor/

■サステナビリティ
https://www.sapporobreweries.com/sustainability/

■シェアードリサーチ アナリストレポート(外部サイト)*2
https://sharedresearch.jp/ja/companies/2501





*1 FACTBOOKは当社グループ概要、中期経営計画、事業概況・データ等をまとめた資料です
*2 シェアードリサーチはシェアードリサーチ社が中立性および客観性を重視し、第三者の視点から情報を収集・整理・分析のうえ作成した資料です

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

より豊かな未来を開拓する



本資料は、投資判断の参考となる情報提供のために作成されたものであり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的としたものではありません。
また、本資料に記載された業績予測ならびに将来予測は、資料作成時点での弊社の判断であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。
従って、将来実際に公表される業績等は、本資料に記載されている内容とは大きく異なる結果となる可能性があります。
弊社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.